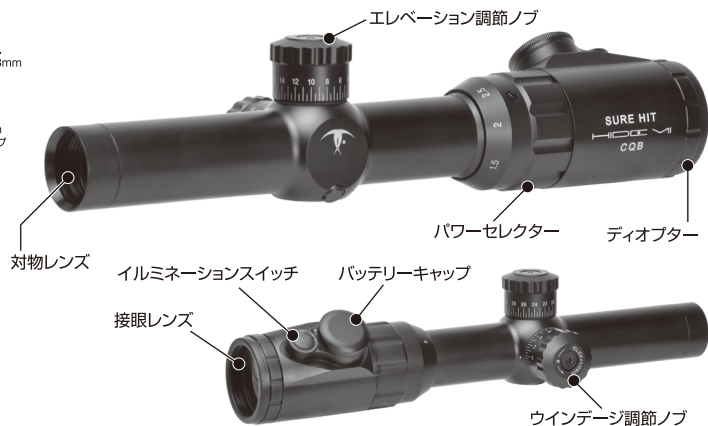
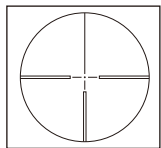


SURE HIT 1422IR HIDE7 CQB

取扱説明書

倍率: 1~4倍
 レンズ径: 22mm
 チューブ径: 30mm
 レティクル: 6D-CQB
 M.O.A.: 1クリック=1/2M.O.A.
 アイリリーフ: 1x=139mm/4x=99mm
 全長: 265mm
 重量: 500g
 作動範囲: UP-R/60M.O.A.
 インボイス: 1M.O.A.以内
 F.O.V.: 1x/21.4m, 4x/7.3m
 付属品: フリップオーバーキャップ



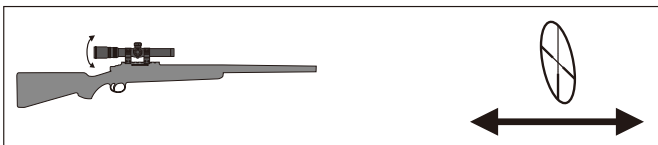
銃にマウントする前に

●焦点合わせ-ディオプター調整

視力は各個人で異なりますので、接眼部にある「ディオプター」を使って調整しておく必要があります。壁や空などの形の無い明るいところをスコープで見たときにレティクルがクッキリとしていないようでしたら、ディオプターを回してレティクルが鮮明に見えるように調整してください。



遠くを見た状態でレティクルがクッキリ見えるように、ディオプターを回して調節します。



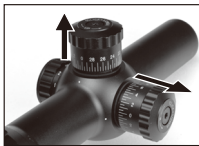
スコープは、レンズを覗いたときに空中にレティクルが投影されるようにできています。ディオプターは、その投影される距離を調節するためのものです。

●調節ノブのロックと解除方法

SURE HIT 1422IRのウインテージ/エレベーション調節ノブは、回転しないようにロックする機能を持っています。



ロックされている状態……ノブを押し込むとロックされ、回転できなくなります。



ロックを解除した状態……ノブを引き出すとロックが解除され、回転させることができます。



注意

調節ノブを無理に回さないでください。ノブをいっぱいまで回した状態から、さらに無理に回すことは損傷の原因になります。

●レティクルをセンターに合わせる

SURE HIT 1422IRは、出荷時にレティクルがおおむね中心に来るように調節してありますが、一度別の銃で使用したことがある場合などは、マウント前に一度レティクルをセンターに戻しておくことをおすすめします。



1.エレベーション/ウインテージ調節ノブを、一度片方向(写真では時計回りに)、それに上動かなくなるところまで回す。



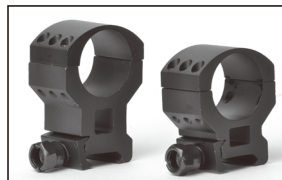
2.反対方向(写真では反時計回りに)、何回転させたか数を数えながら、動かなくなるまで回す。



3.最初と同じ方向(写真では時計回りに)に、「2」で調べた回転数の半分だけ回す。

SURE HITの取り付け

スコープが十分にその能力を発揮するためには、銃に正しくマウントされていることが非常に重要になります。適切な高さ・位置・向きに、十分に強固にマウントしてください。



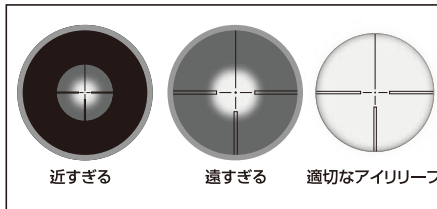
銃に取り付けられているマウントベースと、SURE HIT 1422IRに適した、十分に品質の高いマウントリングを使用してください。



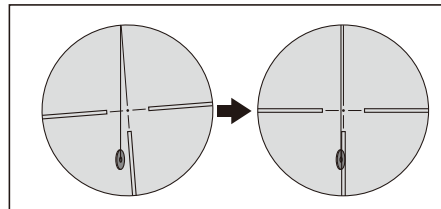
まず、マウントリングの下側のみを、銃のマウントベースに取り付けます。この段階では仮固定なので、マウントリングの固定スクロウは軽く締めるだけでOKです。



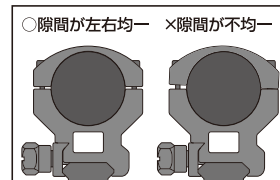
スコープをマウントリングに載せ、前後位置などが適切になっているかどうかを確認します。実際に銃を構えてみて、適切なアイリリーフが取れるかどうかを確認します。



アイリリーフとは……スコープは目と接眼レンズの間に、ある程度の距離を置いた状態で使用します。その距離をアイリリーフと呼びます。近すぎても遠すぎても、正しい照準ができなくなります。構えた時に適切なアイリリーフが取れるようにスコープを取り付けてください。

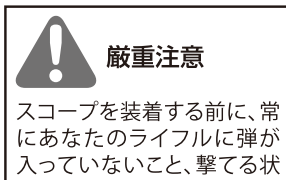


レティクルの水平・垂直を合わせます。銃を平らなところに置いた状態で垂直なもの(コインを吊り下げた糸など)をスコープで見て、糸とレティクルの縦の線が揃うようにする方法があります。



マウントベースにマウントリングを固定しているスクロウを十分に締めてから、マウントリングの上側を取り付け、各部のスクロウを締め付けます。スクロウは一面所だけをいきなり全部締め付けるのではなく、全体が均等に締まっていくように注意してください。

マウントリングが正しく取り付けられた場合、左図のように上下マウントリングの間には左右均等な隙間が空くように作られています。もし左図のように左右の隙間が不均一になっているようでしたら、スクロウを緩めてから左右均等になるように締め直してください。

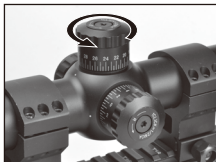


厳重注意

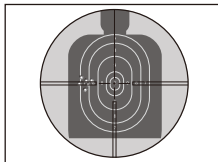
スコープを装着する前に、常にあなたのライフルに弾が入っていないこと、撃てる状態になっていないこと、安全装置がかかっていることを確認して下さい。これは装着の都度必ず実行して下さい。

ゼロイン

ある特定の距離でターゲットの中心を狙って撃ったときに、中心に弾着が集まるように調節することをその距離におけるゼロインと呼びます。ゼロインをする時には、1発だけではなく同じ場所を狙って数発を撃って、そのままとまりを見て調節することが重要です。

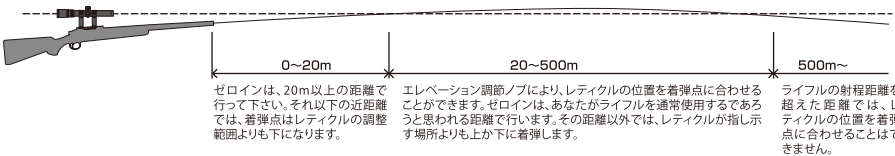


狙った場所より下に当たる場合…エレベーション調節ノブを「UP」の方向に回します。上に当たる場合はその逆です。

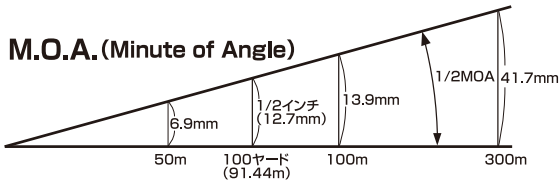


狙った場所より左に当たる場合…ウインテージ調節ノブを「R」の方向に回します。右に当たる場合はその逆です。

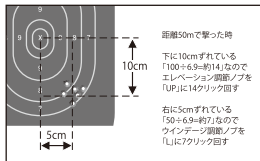
光は真っ直ぐ進みますが、発射した弾はおおむね放物線を描いて飛びます。レティクルの中心に弾が当たるのは最大で2つの距離だけで、それ以外の距離では弾はレティクルの中心より上か下に当たります。



M.O.A. (Minute of Angle)



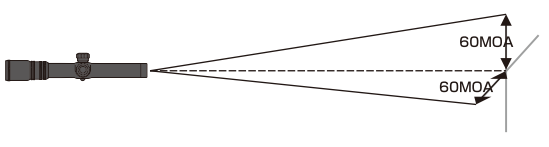
本製品のレティクルは1クリックで1/2MOAの移動量になるように設計されています。MOA (Minute of Angle) とは100ヤードで1インチとなる角度の単位のことです。1/2MOAをメートルに直すと「91.44mで12.7mm」の移動量ということになります。50mでは6.9mm、300mでは41.7mmとなります。



ターゲットまでの距離と、中心からのズレの量から、必要なクリック数が計算できます。

レティクルの調整範囲

SURE HIT 1422IRのレティクルは、中心から上下・左右方向にそれぞれ60MOAの範囲で調節できます。

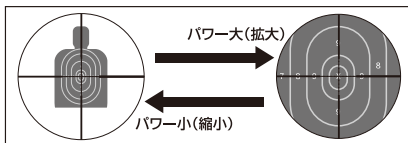


パワーセクター(ズーム)の使い方

パワーセクターを回転させることで、ターゲットの拡大率を変更することができます。



パワーセクターを回転させることで、ターゲットの拡大率を変更できます。



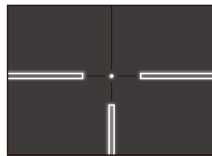
大きな数字ではターゲットは大きく、小さな数字では小さく見えます。どこにいるかわからないターゲットを探すときは小さな数字、より精密に狙いたいときは大きな数字に合わせるとよいでしょう。

イルミネーションレティクルの使い方

SUREHIT 1422IRには、レティクルが赤く発光する機能があります。明るさを8段階に調節できます。暗い場所では照準するときを使用します。



接眼レンズの右上にあるスイッチがイルミネーションレティクルの点灯スイッチです。



スイッチを押すと、中心にあるドットと左右・下方のレティクルが赤く発光します。明るさは8段階に調節できます。

スイッチの使用方法	
消灯	前回消灯したときと同じ明るさで点灯
点灯	1段階ずつ明るくなり、最も明るくなったところでもう一度押すと消灯 ※明るさは8段階調節 スイッチ長押しで消灯



電池はスイッチ前方にあるケースに入っています。CR2032リチウム電池を1個使用します。出荷時の電池はテスト用のため、寿命が短い場合があります。

メンテナンス

ホコリや汚れはまずエアダスターやブロワーで吹き飛ばし、落ちない汚れは柔らかい布などで拭き取ってください。使用しない時は付属のレンズキャップを装着してください。可動部分は恒久的な潤滑がなされていますので、油を差したりしないでください。

トラブルシューティング

●狙った場所に当たらない

調節ノブの範囲に収まらない…マウントベースがエアガンに対して真っ直ぐ取り付けられているか確認してください。
撃つたびに当たる場所がズレる…マウントベースとエアガンがしっかりとガタなく固定されているか確認してください。